

特別セミナー
名古屋大学院国際言語文化研究科日本語教育学講座

言語処理とメンタルシミュレーション

講師： 里 麻奈美 (SATO, Manami) ハワイ大学大学院生
時間： 2009年10月13日(火) 午後6時15分～午後7時45分
場所： 名古屋大学全学教育棟C40
参加： 無料で、誰でも自由に参加できます。

問い合わせ先： 玉岡 賀津雄 ktamaoka@lang.nagoya-u.ac.jp

【内容】人が直接的表現だけではなく抽象的表現の「意味を理解する」際に自分の経験や経験によってつちかわれた知識(視覚、聴覚、味覚、動作など)をMental Simulationという認知プロセスを通して無意識に利用しているということを脳科学、認知言語学の視点から実証する。Mental Simulationとは、「聞き手が意味を理解する際、話し手が言っている事象を無意識に想像し、その想像過程の認知プロセスが、人間の意味理解において大きな役割を果たしている。Mental Simulationの存在は、脳科学において、fMRIの実験結果から実証されている。認知言語学においては、Mental Simulationは次のような視点から実証されている。(1)視覚をともなうMental Simulation, (2)複数の感覚(視覚、聴覚、味覚など)をともなうMental Simulation, (3)動作をともなうMental Simulation, (4)抽象的な表現(比喩)を理解する際にともなうMental Simulationである。また、最後にこの分野でのこれからの課題に言及する。